

はじめに



私たちが暮らす熊本県は、豊かな地下水や雄大な阿蘇の草原、天草や有明、八代の資源豊かな海など多様な自然環境に恵まれています。一方、私たちは「公害の原点」と言われる水俣病を通して、環境破壊の恐ろしさとその復元の困難さを身にしみて実感しています。水俣病の過ちを二度と繰り返すことなく、かけがえない自然を県民共有の宝として次の世代へ引き継いでいくことは、今を生きる私たちの重要な責務です。

さて、熊本は今、「熊本地震」「令和2年7月豪雨災害」「新型コロナウイルス」という県政史上例を見ない3つの困難に直面しています。

また、全国に視野を広げると、長期化する新型コロナウイルスの感染拡大が、国民生活や日本経済に大きな打撃を与えています。

この日本全体の危機的状況を打破するために、熊本に何ができるかを考えたとき、熊本が持つ強みを活かして、日本の「5つの安全保障」に貢献するという夢を思い描きました。その5つ目は、「地球環境の安全保障」です。本県は、国に先んじて「2050年県内CO2排出実質ゼロ」を宣言しました。この目標の実現に向け、県民や事業者とともに、県も率先して取組みを進め、「地球環境の安全保障」に貢献してまいります。

この白書では、本県の環境の現状、課題及び取組みの内容をまとめています。県民の皆様一人ひとりが、この白書を通して、本県の環境の現状や対策について関心と認識を深めていただき、環境立県くまもとの実現に向けた確かな一歩を是非踏み出していただくようお願いいたします。

令和4年（2022年）3月

熊本県知事 蒲島 郁夫